

平成29年度

丹沢大山ボランティアネットワーク
活動報告書

目 次

I 丹沢大山ボランティアネットワーク事業報告

- 1 水質調査
- 2 講演会

II 会員団体活動掲示板

神奈川県勤労者山岳連盟
横浜わらび山の会
神奈川県山岳連盟
NPO法人神奈川県自然保護協会
NPO法人かながわフィールドスタッフクラブ
神ノ川ヒュッテ管理委員会
NPO法人北丹沢山岳センター
山綾会
NPO法人四十八瀬川自然村
NPO法人自然塾丹沢ドン会
丹沢けものみちネットワーク
NPO法人丹沢自然保護協会
丹沢ブナ党
西丹沢の自然にふれあう会
蛭ヶ岳山荘委員会
NPO法人みろく山の会
NPO法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部
かながわ野生動物サポートネットワーク
町田グlaus山の会
NPO法人伊勢原森林里山研究会
NPO法人神奈川ウォーター・ネットワーク
NPO法人丹沢自然学校
NPO法人野生動物救護の会
NPO法人足柄丹沢の郷ネットワーク
湘南自然観察クラブ
伊勢原の自然と環境を守る会

III 世話人会の活動報告

I 事業報告

平成29年度水質調査結果一覧 <上段:検査項目 中段:単位 下段:水質基準(参考)>

調査地点	採水日	一般細菌 CFU/ml	大腸菌 100CFU/ml以下	亜硝酸態窒素 mg/l	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 mg/l	塩化物イオン mg/l	有機物 3mg/l以下	pH値 5.8以上8.6以下	味 -	臭気 -	色度 5度以下	濁度 2度以下	水場周辺の状況			気象の状況					
													コミ散乱	野外排泄	トイレ	水場設備	天候 当日	天候 前日	気温 ℃	水温 ℃	
1 半原越付近	5月7日	2	検出	0.004未満	0.6	2.5	0.3未満	8.0	※	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	19	14	
2 日向林道起点水場	7月1日	2	不検出	0.004未満	0.7	1.8	0.3未満	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	曇り	曇り	20	14	
3 腫摩屋敷跡	5月9日	3	不検出	0.004未満	0.7	1.4	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	20	13.5	
4 堂平沢	5月17日	6.4×10	不検出	0.004未満	0.1	0.9	0.5	7.8	正常	正常	2	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	小雨	小雨	18	12
5 原小屋平水場	5月14日	2	不検出	0.004未満	0.2	0.7	0.3未満	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	雨	11	10
6 黍越山避難小屋	5月19日	0	不検出	0.004未満	0.7	1.1	0.3未満	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	20	10
7 大山 弘法の水場	5月16日	0	不検出	0.004未満	0.7	2.3	0.3未満	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	曇り	曇り	20	14	
8 春嶽湧水	5月9日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.8	0.3未満	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	20	13	
9 葛葉の泉	5月3日	0	不検出	0.004未満	0.8	2.0	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	晴れ	19	16	
10 竜神の泉	5月3日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.9	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	22	15
11 後沢養越水場	5月27日	6.3×10	検出	0.004未満	0.3	1.3	0.3未満	7.9	※	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	雨	21	14
12 二俣の水場	5月27日	1.3×10 ²	検出	0.004未満	0.5	1.1	0.4	7.8	※	正常	1	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	雨	22	14.5
13 大倉高原山の家水場	5月27日	3.0×10	検出	0.004未満	0.9	1.3	1.9	7.7	※	正常	8	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	晴れ	雨	21	19	
14 塔ノ岳水場	5月27日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	0.8	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	雨	23	12
15 皆瀬川入道	5月20日	19	不検出	0.004未満	0.8	3.1	0.4	7.8	正常	正常	1	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	晴れ	晴れ	24	17
16 西丹沢県民の森	5月14日	1	不検出	0.004未満	0.5	1.0	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	少々あり	なし	あり	取水口	曇り	雨	17	14.5	
17 仲ノ沢法面湧水	5月14日	0	不検出	0.004未満	0.6	1.2	0.3未満	8.2	正常	正常	1未満	0.5未満	少々あり	なし	なし	取水口	曇り	雨	20	13.8	
18 用木沢出合	7月1日	7.0×10 ²	検出	0.004未満	0.4	0.8	0.5	7.8	※	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	曇り	19	14
19 一軒屋避難小屋前水場	7月1日	3.2×10 ²	検出	0.004未満	0.3	0.8	0.5	7.8	※	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	なし	なし	曇り	曇り	20	14
20 犬越路ずい道水場	5月25日	0	不検出	0.004未満	0.1未満	1.0	0.3未満	7.8	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	曇り	曇り	18	12	
21 犬越路 日陰沢	5月16日	0	不検出	0.004未満	0.2	1.1	0.3未満	7.9	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	あり	取水口	小雨	曇り	18	14	
22 エビノ沢出合	5月16日	4	検出	0.004未満	0.3	1.0	0.3未満	7.9	※	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	なし	取水口	曇り	小雨	18	14	

※大腸菌が検出されたため、味の検査は不可

平成 29 年度 丹沢大山ボランティアネットワーク講演会報告

報告者 丹沢・大山ボラネット世話人会代表 小林 昭五



↑写真 盛況な丹沢講演会の様子

★ 丹沢講演会は年ごとに盛大になってきました。

参加者の皆様へ

お忙しい中、講演会に参加して頂き有り難うございました。

三回目を迎えた今年は、昨年以上に多くの人が集まり盛大に開催されました。ひとえに皆様方の援助のおかげです。

昨年度 44 名 今年度 50 名 の参加者が有りました。

場 所 神奈川県自然環境保全センターレクチャールーム

演 題 「絶滅の危機にある昆虫の保全」

講 師 荻部 治紀 先生

日 時 9月9日(土) 9時30分～12時

★丹沢講演会の様子 司会運営 小野

(1) 代表挨拶の内容 小林昭五

今年度で三回目講演会を迎え充実した内容になってきました。

昨年度は県内の山岳での遭難者は111件と過去最悪になりました。その内、中高年者が7割を占めています。

いろいろな活動で山へ入るボラネットの皆様気をつけて活動してください。



↑写真 小林代表挨拶

(2) 苅部治紀先生のご紹介 長嶋 栞 事務局より
生命の星・地球博物館 主任学芸員

- ・トンボの専門
- ・最近 10 年ほどは、絶滅の危機にある昆虫の保全活動を各地で行っている。
- ・特にアメリカザリガニなどの外来種問題解決のために駆除活動行っている。



↑写真 苅部講師紹介の様子



←写真 講師 苅部先生

- ・小笠原諸島固有昆虫の保全活動を行っている。
- ・トンボ類の世界的なコレクションを構築中。
自分で名前を付けた【記載するという】
新種も 50 種を超えている。
こうした学術的に貴重な標本を含め、
東南アジアのものを中心に収集をして

いる。

神奈川県内の過去の自然の様子が見られる標本、丹沢や箱根などの標本などの学術資料を収集保存している。

- ・環境省のレッドリスト改訂の委員



- ・トンボ学会委員長 甲虫学会の自然保護委員などをつとめている。

←写真 ミヤマアカネ

★苅部先生講演の内容

絶滅の危機にある昆虫の保全について話されました。

その原因はいろいろな要素が関係しているが、その中で外来種の繁殖問題と環境整備を中心に話が進められました。



↑写真 講演のテーマ



里地、里山の休耕地、休耕田などにより田畑の原野化が進み昆虫や水生生物が生育環境を失ってしまった。

元は谷戸の水田だった所が乾燥の荒地になってしまった。

用水路が護岸工事で水生生物が住みづらくなってしまった。そのため元の種が消えたり新顔が入り込んだりした例もある。

←写真 休耕田やコンクリート水路により変化した環境



←写真 田んぼはアカトンボにぴったり

里山と水田稲作は

水、産卵、ヤゴの生活、捕食、出合、山地生活などトンボの一生のサイクルが整えられた、生息には絶好の環境です。



←写真 日本のアカトンボの種

日本は秋津島と言われるよう稲作が盛んでトンボの天国であった。その中でも赤とんぼの種は世界の1/3の21種も生息しています。

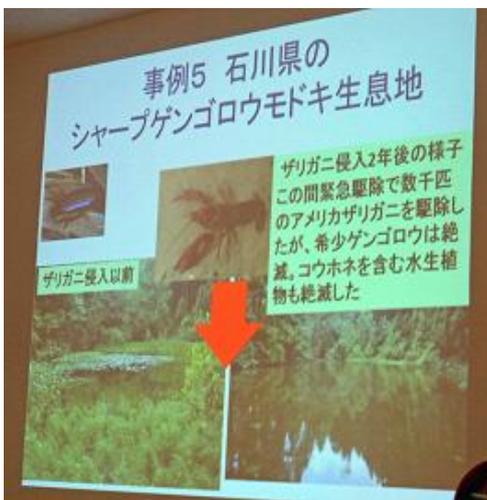
このような環境も現在は変化しています。

昆虫などの生息環境は自然のまま放っておいては悪化します。人間の生活の中に入り込み共存して来たのですから、人が手を入れることで環境が整備されるのです。

トンボ、チョウ、ホタルなどの復活には、まずは環境整備です。生物の保護は住める環境を作り出すことが大切です。

里地の田んぼの休耕田も問題だが、里山の放置も問題になっています。放置の結果、人工林の荒れ土壌流出や竹林化など多くの問題生じます。

→写真 放置された里山、里地の様子



次に外来種侵入の大きな環境破壊が問題です。

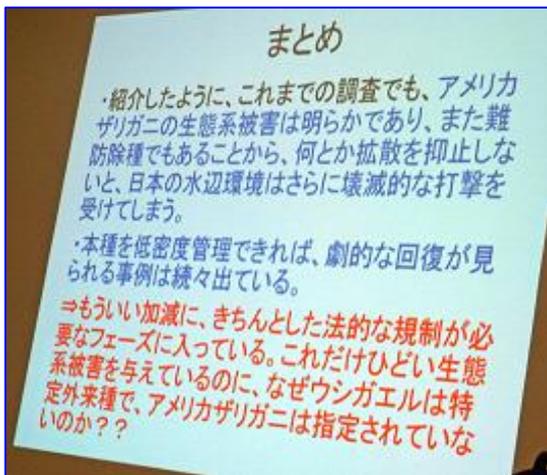
特にアメリカザリガニの日本全国への侵出が問題になっています。

今では北海道まで拡大して、いろいろな所で日本在来種水生生物や植物が被害を受けてい

ます。

↑ 写真 在来生物の影響の様子。





アメリカザリガニは特定外来生物のブラックバス等と違い、水を抜いても生き延びられます。

大変だが一匹一匹捕まえて駆除することが大事です。

また在来種のコイやナマズで小さいものは退治し、生態的均衡を保つことが出来ません。しかしこれも課題は多いです。

現在は要注意外来生物だが特定外来生物に指定し全国で意識して日常的に駆除に努めることが大切です。

↑まとめ

講演会 アンケートまとめ

上の講演会のテーマはいかがでしたか？

非常に良かった	7
良かった	23
普通	8
悪かった	0
非常に悪かった	0

① 演会の内容についてはいかがでしたか？

よく理解できた	10
理解できた	19
普通	8
あまり理解できなかった	1
全く理解できなかった	0

② 後、講演会で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・植物の保全の大切さ
- ・シカ、イノシシの食害について
- ・子供相手のプログラム紹介または結果報告、事例紹介
- ・丹沢の動物、生きもの
- ・丹沢の微生物等、他では聴けないテーマがよい。
- ・山口先生の専門のコウモリの話。水産関係の方に丹沢周辺の魚の話。地質学の話。
- ・丹沢の山々の成り立ちと植生の分類等（山全体の話）が聞きたい。
- ・丹沢の動物とその被害状況、対策について。丹沢の昆虫類。
- ・丹沢のチョウ類について
- ・時事的な自然状態を取り入れた内容をお願いしたい。
- ・神奈川の大地、自然が育む植物、生物群
- ・シカの生態とシカ肉を使った料理など取り上げてほしい。
- ・地質学的丹沢の歴史もやってほしい。

・以前「ヤマヒル」について参加しましたが、その後の分布等変化があれば…

- ・野生動物、特に鳥類

お忙しい中、「丹沢講演会」へお出で頂きまして、そしてアンケートへの御記入協力を頂き、本当に有り難うございました。

上記のアンケート結果を検討して、次年度の「丹沢講演会」の内容を決めていきます。

Ⅱ 会員団体活動掲示板

団体名称	神奈川県勤労者山岳連盟
	<p>国民の登山要求の高まりの中で、「安く、楽しく、安全に」を合言葉に1968年に結成し、50周年を迎えている。登山が自然をフィールドとするスポーツである以上、常に自然との共存共生や遭難事故防止の課題を伴っている。私たちは自らの登山技術や知識を高め、仲間を迎え入れ、登山活動の一層の充実と発展を図る。また、自然保護委員会を設立し、丹沢をはじめとする自然保護活動にも力を尽くしてきている。</p> <p>【設立年月日】1968年</p>
団体情報	<p>【代表者】渡辺 三男</p> <p>【会員数】640名</p> <p>【ホームページ】http://www.k-rouzan.net/</p>
活動内(容)	<p>2017年度活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「第40回「2017年丹沢クリーンハイク」実施 <p>自然保護委員会活動の最大行事として、丹沢クリーンハイクを5月最終日曜日実施し、その前日の土曜日に水質調査用の採水を各会に担当を分担して実施。クリーンハイク、水質調査は山の実態を知るうえで貴重な作業だと考えている。また、40周年を迎えたでクリーンハイクは、会員の丹沢を愛してやまない心映えと協力によるものと考えている。これからも継続していく覚悟でいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然観察会、全国自然保護集会、関東ブロック自然保護担当者会議、自然保護講演会などへの参加を積極的に行っている。 ● 被災地石巻市民植樹活動、福島子ども達の保養プロジェクトの実施などボランティア活動にも取り組んでいる。 <p>2017年の主な活動報告一覧</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 丹沢クリーンハイク実行委員会 1月～6月 ② 丹沢水質調査 5月27日(土) 沢、水場、名水等6コース、23名参加。 ③ 丹沢クリーンハイク 5月28日(日) 清掃12コース、登山道整備(二ノ塔・三ノ塔)198名参加 ④ 石巻震災支援(植樹)ボランティアに5月と11月2回参加 ⑤ 福島震災支援子ども保養ボランティア 8月1～3日に参加
連絡先	<p>【担当者】</p> <p>【住所】〒221-0833 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階</p> <p>【電話】045-434-2726</p> <p>【FAX】同上</p> <p>【メール】http://www.k-rouzan.net/</p>

団体名称	横浜わらび山の会
設立目的	<p>自然を通じて会員相互の親睦をはかり、「生涯登山」を合言葉に楽しい山歩きやハイキングを目的としています。日帰り山行は元より、夏の山行、街中ハイキングから神社、仏閣巡り、温泉、花巡り、また清掃登山や障害者登山への積極的参加などを通して、自然を愛し、自然保護に力を入れ、自然と親しみながら、「和やかに」「楽しく」「美しく」、いつまでも元気でいられるよう行動しています。会名「わらび」は、理念のなかの「和やかに」「楽しく」「美しく」の和・楽・美を合わせて「わらび」と命名しました。</p> <p>【設立年月日】1990年3月</p>
団体情報	<p>【代表者】田内道子</p> <p>【会員数】35名（2017年7月15日現在）</p> <p>【ホームページ】http://warabi.la.coocan.jp/</p>
	<p>11月19日</p> <p>“丹沢のみどりを育む集い”主催のウラジロモミ防護ネット補修 当会から3名参加（場所：堂平エリア）</p>  
連絡先	<p>【担当者】長谷川 隆</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】</p>

団体名称	神奈川県山岳連盟
設立目的	<p>神奈川県山岳連盟は、登山を指導普及し、その健全な発展を図り、あわせて会員の親睦・交流と、自然愛護の精神を高揚することを目的としている。</p> <p>【設立年月日】昭和29年4月4日</p>
団体情報	<p>【代表者】岡本 安夫</p> <p>【会員数】 17 協会、80 団体、2200 名</p> <p>【ホームページ】http://www.kanagawa-gakuren.gr.jp/</p>
活動内容	<p>神奈川県山岳連盟は、県下各地の市町村の山岳協会や大学山岳連盟・高等学校体育連盟登山専門部からなる17の団体を統括している。そして、競技登山（スポーツクライミングなど）、卓越登山（エクスペディション）から健康登山（ハイキング、トレッキング）と幅広い登山ジャンルのなか、安全普及（指導者養成・ジュニア養成）、遭難対策（セルフレスキュー、グループレスキュー）、環境保全（山岳自然保護）などの活動を行っている。</p> <p>指導者養成では、公益財団法人日本体育協会の認定するスポーツ指導者の専門教育（山岳部門）を担っているとともに、環境省自然公園指導員や公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会公認の自然保護指導員の養成（山の自然セミナーなど）を行っており、丹沢山塊を始め国内山岳における指導や普及・啓もう活動にあたっている。</p> <p>主な環境保全活動としては、丹沢大山クリピア21への参加のほか、ニノ塔・三ノ塔山腹での丹沢野緑を育む実行委員会ボランティア活動、宮ヶ瀬湖畔煤ヶ谷水源林での県民協働での森林づくり活動実行委員会の定着型森林づくりボランティア活動に参加し、自然再生に向けた植樹や山林整備を行っている。</p> <p>詳細は添付資料をご覧ください。</p>
連絡先	<p>【担当者】松隈 豊</p> <p>【住 所】秦野市桜町1-8-15</p> <p>【電 話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】matsumobi@nifty.com</p>

1. クリーン活動

- ◆丹沢大山クリーンピア 21 活動（各山岳協会・自然保護指導員・自然公園指導員が連携 通年）
ゴミ持ち帰り運動に参加。平成 28 年度分活動実績は次表の通り。

活動	実施回数	参加者数（名）		回収ゴミ	
		男	女	可燃	不燃
H29 年度（H29/3/1～H30/2/28）	72	466	436	168	147

※広沢寺岩場清掃集会（広沢寺の岩場を守る会）への参加協力も行っている。

2. 自然再生活動

- ◆第八回環境登山（パートⅠ：29/5/21、パートⅡ：H29/9/25）

山岳地（丹沢山塊）の崩落跡の裸地の植生回復を目指した植栽を行っている。年 2 回の集合活動を実施し、春には植栽、秋には苗木の点検保守を実施した。平成 29 年春の植栽で合計 700 本を達成。



- ◆森林づくりボランティア活動（通年）

清川村の県有水源林の約 8 ヘクタールを使い、県助成金をバックに森林づくりボランティア活動を実施している。放置され荒れた旧里山の林地を健全な森林に回復活動を実践した。（第 68～。年間 10 回予定）



- ◆荒廃農地整備活動（H29/6/20～8/20）

チェーンソー技術研修を兼ねて荒廃農地の整備ボランティアを実施した。2 回実施済み。



- ◆登山道維持管理補修活動（H30/11/1～3/31）

神奈川県自然環境センターと協定を締結にて、ヤビツ峠大山線（イタツミ尾根）の登山道整備事業を 11 月から開始。この協定事業は平成 34 年までが期間。



3. 教育・研鑽活動

◆山の自然セミナー（H30/3/23～3/24）

第7回山の自然セミナーを県立山岳スポーツセンター及び大山イタツミ尾根にて1泊2日で開催。第一日目は県職を講師に自然公園内の登山道の概況について聴講。第二日目登山道補修にイタツミ尾根にて実習した。



4. 調査活動

◆登山者数カウンター調査（通年）

神奈川県のご委託事業として丹沢・表尾根公園歩道2カ所の登山者数カウンター調査を毎月1回行った。この事業は平成26年から継続して実施。



◆水環境調査（H29/6/5）

世界環境デー（6月第一日曜）の前後に全国的に行われる身近な水環境全一斉調査に参加。地域の山岳会が行っていたものを、連盟活動として2012年から継承したもの。今回、神奈川県西部地区20地点の河川にて調査を行った。結果は、全国身近な水環境全一斉調査報告に反映された。



5. 対外協力・啓発活動

- ◆丹沢大山自然環境再生委員会
- ◆丹沢大山ボランティアネットワーク
- ◆丹沢大山クリーンピア21実行委員会 ボランティア活動
- ◆かながわ県民と協働による森林づくり実行委員会 定着型ボランティア活動

6. 日山協活動への参加

- 1) 自然保護常任委員の推薦派遣3名（紅葉淳一、湯浅達男、松隈豊）
- 2) 開催事業への参加
 - ◆自然保護常任委員研修会（足柄）
 - ◆自然常任委員総会 山岳自然保護の集い（石川県白山市）
 - ◆関東地区山岳連盟自然保護交流会（奥多摩・予定）
 - ◆自然指導員研修会（オリンピック記念青少年総合センター）

7. 自然保護関係指導員推薦状況（平成30年3月31日現在）

指導員区分	登録数
公益社団法人日本山岳スポーツライミング協会認定自然保護指導員	56名
環境省委嘱自然公園指導員（任期は平成30年3月31日まで）	36名

団体名称	NPO 法人神奈川県自然保護協会
設立目的	神奈川県の自然の保護及び神奈川県民の自然保護意識の向上に寄与すること 【設立年月日】 1965年10月1日、2004年6月1日（NPO法人格取得）
団体情報	【代表者】 藤崎英輔 【会員数】 150（個人・団体） 【ホームページ】 http://www.eco-kana.org
活動内容	<p>(1) 自然保護に関する普及啓発事業</p> <p>ア シンポジウム・講演会開催事業 講演会(6/17) かながわの帰化植物事情 会場 県民センター</p> <p>イ 自然観察会 地形・地質見学会（2018.2月）今なお活動が続く 箱根火山の地史を目(ま)の当たりに</p> <p>ウ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働 自然のめぐみに触れるエコツアー 川のめぐみ（4/4） 外来生物啓発 ザリガニと遊ぼう 8/22 厚木中央公園</p> <p>エ 学校の行う環境教育支援 厚木市立愛甲小学校ほか</p> <p>(2) 広報・刊行事業</p> <p>ア 啓発誌「かながわの自然」67号発行</p> <p>イ 情報紙発行事業 情報紙「ニュースレター」発行</p> <p>ウ ホームページの運営</p> <p>エ 啓発ブース出展 さとやま水族館 横浜日本大通り(5/27,28) かながわエコ10フェスタ 藤沢市 藤沢自然と親しむ会プレイベント 辻堂テラスモール(10/15) 厚木市 ミニ環境フェア（'18 3/3）</p> <p>(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動</p> <p>ア さかみ自然フォーラム開催(2/8-12) 会場 アミューあつぎ アートギャラリー他 厚木市共催 企画展「考えよう…外来生物」 自然保護団体ポスター展示 ポスターセッションによる交流 25団体参加 シンポジウム 「考えよう…外来生物」 学校環境活動発表（ポスター及びステージ） 大学・高校生の研究発表（ポスター及びステージ）</p> <p>イ 他団体等行事の後援 川名自然フォーラム 藤沢自然と親しむ会</p> <p>(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究 ・神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト</p> <p>(5) 行政への働きかけ・協働 神奈川県環境審議会委員派遣 水源地環境保全再生県民会議委員 丹沢大山保全再生委員会委員他</p>
連絡先	<p>【担当者】 青砥航次</p> <p>【住所】 厚木市林 5-15-10</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】 nacs-kana-office01@eco-kana.org</p>

行事のようす



横浜日本大通 さとやま水族館



川のめぐみ アユ料理賞味



川のめぐみ 生きもの調べ(淡水魚試験場)



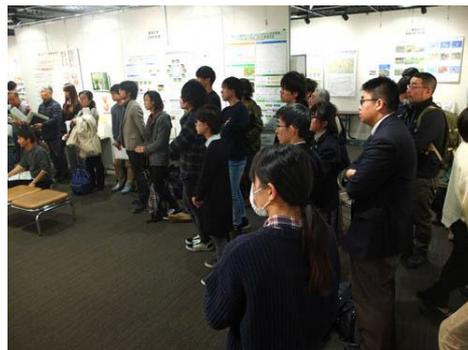
外来生物啓発 ザリガニと遊ぼう



藤沢自然と親しむ会プレイベント展示



地形地質見学会 箱根



さがみ自然フォーラム
左 入口の様子
右 ポスター発表

<p>団体名 称</p>	<p>特定非営利活動法人 かながわフィールドスタッフクラブ</p>
<p>設立目 的</p>	<p>神奈川県、及び県内自治体と協力し、自然観察を基本に環境学習、自然環境保全活動を展開しています。</p> <p>活動の場を行政機関、各種法人等との連携事業も視野に入れ、発展を図るため、特定非営利活動の自然環境学習、自然観察実践指導団体となり、社会的責務を果たす必要があると考えて、特定非営利活動法人（NPO法人）を設立いたしました。</p> <p>【設立年月日】1994年（平成6年）に神奈川県フィールドスタッフクラブとして発足し、2008年（平成20年）に「NPO法人かながわフィールドスタッフクラブ」として認証を受けた。</p>
<p>団体情 報</p>	<p>【代表者】理事長 大野 征一</p> <p>【会員数】正会員数：60名、他に準会員1名・賛助会員29名</p> <p>【ホームページ】http://www.npokfsc.com/</p>
<p>活動内 容</p>	<p>紙面の都合で一部の活動概要を報告します</p> <p>1 遠足観察会</p> <p>かながわフィールドスタッフクラブ主催です。フィールドスタッフの解説を聞きながら、四季折々の自然を楽しむハイキングです。当日の受付ですからどなたでも気楽に参加できます。</p>  <p>2 自然発見クラブ</p> <p>自然環境保全センター主催で、年3回の開催です。自然の物を使ってリース、ブローチ、竹笛などをスタッフの指導で作ります。親子での参加も楽しいものです。</p>   <p>3 ミニ観察会</p>  <p>自然環境保全センター主催のミニ観察会です。フィールドスタッフの案内で、自然環境保全センター野外施設を歩きます。当クラブの担当は毎月第4日曜日と祝日の一部です。時間は午後1時から3時まで。どなたも申込み無し、無料で参加出来ます。詳しくは、ホームページをご覧ください。</p>

4 自然観察・モニタリング

七沢森林公園主催で、厚木市案内人（フィールドスタッフ）が案内いたします。

年間12回実施。どなたでも無料で参加できます。



5 森林セラピー・体験ウォーク

七沢森林公園主催で、神奈川県で唯一森林セラピー基地として認定された当園内を厚木市セラピー案内人（フィールドスタッフ）が案内いたします。

森の中を散策しながら少しでも健康に役立てるようにセラピーメニューを用意しています。年間10回実施し、公園事務所前に午前10:00に集合し12:30まで、どなたでも200円で参加できます。



6 宮ヶ瀬事業

(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団から委託を受け、年間7回のイベントを実施しています。

【4月】 宮ヶ瀬トレッキング

【5月】 及沢観察とセラドン石学習

【6月】 チョウの観察とクラフト 【7月】 トンボ博士になろう

【9月】 間伐材で動物を作ろう 【10月】 ドングリクッキー作り

【11月】 カヤの話とススキのミミズク



7 自然観察園ガイド（学校・グループ対応）



月～金曜日に、実施依頼のあった自然観察会のガイドを行います。

自然環境保全センター自然観察園のガイドを依頼する小学校や各種団体は、自然環境保全センター自然保護課（046-248-6682）にお申込みください。

スタッフはセンターからの依頼を受け案内いたします。又小学校周辺の出前観察会等もお受けしています。

8 神奈川県フィールドスタッフ体験教室

平成29年度のフィールドスタッフ体験教室 (参加費無料)

◆Aコース「自然観察会の基礎」

平成29年11月11日(土) 10:00～15:00

生き物の名前を教えるだけが観察会ではありません！参加者の心に残る自然体験にするためにスタッフはどのような心構えや準備が必要なのか？フィールドスタッフの観察会づくりを体験する入門編。



◆Bコース「自然観察会の企画・運営」

平成30年2月10日(土) 10:00～15:00

フィールドの下見から自然観察会を企画するまでをグループワークで体験します。時期は？テーマは？対象はどんな人？…班ごとに協力して企画書をつくります。



※Aコースから受講することをおすすめしますが、Bコースからの受講を禁止するものではありません。

申し込み方法

自然環境保全センターのホームページ「行事のご案内」の申込フォームまたは、往復はがきにてお申込みいただけます。

◆往復はがきでの申込

行事名・住所・氏名・電話番号・参加者全員のお名前・マスコミによる取材が入った場合の写真撮影、インタビューの可否を明記し、下記宛先へお送りください。

◆締め切り：各実施日の14日前

◆定員：各回30名（※申込多数の場合は抽選となります。）

宛先・お問合せ

神奈川県自然環境保全センター 自然保護課
〒243-0121
神奈川県厚木市七沢657
TEL：046-248-6682

HPはこちらから！→



連絡先

【担当者】 石井 晃

【住所】 厚木市旭町1-34-3-602

【電話】 046-281-9320

【FAX】 同上

【メール】 aishii@jasmine.ocne.ne.jp

団体名称	神ノ川ヒュッテ管理委員会
設立目的	<p>山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>自然保護活動（広河原植林事業、東海自然歩道監視、整備等）の基地及び山岳スポーツ（トレイルレース）の基地として活動している。</p> <p>【設立年月日】 1993年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】 杉本 憲昭</p> <p>【会員数】 80名</p> <p>【ホームページ】 http://kitatan.com/kantop</p>
活動内容	<p>4月 9日 丹沢神の川流域山開き折花姫神社・本祭行事 東海自然歩道・日陰沢新道のゴミの収集活動</p> <p>6月18日 国道20号線クリーン活動</p> <p>6月25日 東海道自然歩道コース整備・清掃活動</p> <p>7月 2日 北丹沢12H山岳耐久レースの協力・第一関門及び第二関門 日陰沢新道の整備活動</p> <p>8月 1日 神の川周辺登山道清掃及び点検活動 ～31日 広河原での植林活動</p> <p>11月23日 神ノ川ヒュッテ周辺の清掃活動</p> <p>活動場所 北丹沢山城（特に神の川、広河原、鐘撞山を中心とした地域）</p> <p>神の川ヒュッテ友の会会長 加藤 博恵</p>
連絡先	<p>【担当者】 杉本 憲昭</p> <p>【住所】 相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】 042-687-4011</p> <p>【FAX】 042-687-3980</p> <p>【メール】 kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	NPO法人北丹沢山岳センター
設立目的	<p>藤野町牧野財産管理会の委託を受け、健全なヒュッテの経営を行う。 山岳愛好者を中心とする一般公衆に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 2003年 4月 11日</p>
団体情報	<p>【代表者】 杉本 憲昭</p> <p>【会員数】 運営委員会30名 10団体400名</p> <p>【ホームページ】 http://kitatan.com/</p>
活動内容	<p>4月 2日 国道20号線クリーン活動 4月 9日 北丹沢神の川流域山開き・折花姫神社での本祭行事 6月18日 国道20号線クリーン活動 7月 2日 北丹沢12時間山岳耐久レースへの協力 8月15日 神の川周辺登山道の清掃・点検活動 11月 5日 陣馬山トレイルレースへの協力・陣馬山清掃活動 11月12日 国道20号線クリーン活動 11月23日 神ノ川ヒュッテ周辺の清掃活動</p> <p>長年の自然保護活動に対し、杉本理事長が平成29年秋の緑綬褒章を受章する</p> <p>活動場所 北丹沢山城、陣馬山城 (特に神の川、広河原、蛭ヶ岳、姫次を中心とした地域)</p>
連絡先	<p>【担当者】 杉本 憲昭</p> <p>【住所】 相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】 042-687-4011</p> <p>【FAX】 042-687-3980</p> <p>【メール】 kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	山綾会
設立目的	<p>「生涯登山」を合言葉に、中高年の健全な登山、ハイキングを行うことにより、会員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的としています。</p> <p>【設立年月日】平成4年10月1日</p>
団体情報	<p>【代表者】彦坂 弘明</p> <p>【会員数】66名（平成30年1月27日現在） 男性21名、女子45名</p> <p>【ホームページ】http://sanryokai1992.wed.fc2.com</p>
活動内容	<p>平成29年度活動は50回の計画に対して実施が45回、天候不良などによる中止が5回となっています。</p> <p>その中で、クリーンピア活動は11月3日に大山清掃登山として、会員のレベルに合わせ3コース（ヤビツ峠コース、見晴台コース、蓑毛コース）にて実施しました（参加者29名、写真1及び2）。又、綾瀬市民文化展の写真部門に会員14名が出展しました。</p> <p>本年度は山綾会発足25周年にあたり、オリジナルの記念バッチを全会員に配布（写真3）、又、25周年の足跡をたどる写真展を6月6日から12日に掛けて綾瀬市市役所7階ホールにて実施し、来場者375人と盛況を得ることができました（写真4）。25周年行事としては他に北横岳へのバス山行や北海道の羊蹄山・トムラウシ山行を実施しています。</p> <p>平成29年は山綾会においても登山中に2件の事故が発生しており、会ではより一層の安全・安心登山を目指して、啓発活動を実施しました。</p> <p>又、ここ数年、新たに山綾会に入会する人よりも会員の高齢化による退会者が多く、会員数が減少しています。ホームページや綾瀬市広報紙を通じて会員の募集を呼びかけ、今後も会の発展と生涯登山をめざしています。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <div data-bbox="370 1431 967 1877" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">写真1 大山清掃登山(ゴミ拾い風景)</p>



写真2 大山清掃登山(大山 下社にて)



写真3 25周年記バッヂ



写真4 25周年写真展(綾瀬市市役所7階ホール)

連絡先

【担当者】近藤龍吉

【住所】

【電話】

【FAX】

【メール】

団体名称	NPO 法人四十八瀬川自然村
設立目的	四十八瀬川流域の原風景と、ホタルの棲める環境をまもる。 【設立年月日】2001年9月 秦野市民15名で「四十八瀬川自然村」を設立。 2007年5月 NPO 法人認可、登録
団体情報	【代表者】 【会員数】村民75名(男性59名・女性16名)・高齢者多数 【ホームページ】48se-mura.com
活動内容	豊かな里山の自然環境を後世に引き継ぐため、荒廃化した水田・農地・里山の整備にと活動を続ける。又河川活動では県の絶滅危惧種の「カジカ」の定点調査やホタル生息地の整備等に取り組んでいる。ホタル鑑賞会や、各イベントに参加普及啓発に努めている。ほか酒米の栽培から振舞い酒を行う(秦野どぶろく祭り)を毎年行っている。
連絡先	【担当者】小野 均 【住 所】 【電 話】 【F A X】 【メール】 hi_ono@hotmail.co.jp

団体名称	NPO法人自然塾丹沢ドン会
設立目的	<p>丹沢及び山麓の豊かな自然、風土、文化の変容に対して、「登山道等の補修」「伝統風景の保全」「風土が育んだ文化、伝統、芸術の保全」等の事業を、山麓に暮らす人たちとともにを行い、もって健全な社会資産の形成、公益の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1992年3月 (NPO 法人認証 2001年9月11日)</p>
団体情報	<p>【代表者】 片桐 務</p> <p>【会員数】 130 家族</p> <p>【ホームページ】 http://www.donkai.com/</p>
活動内容	<p>里地・里山は、かつて人の手が入り、活用・管理されて風景を保ち、生物の多様性も維持できていました。しかし、エネルギー革命・高度成長・人びとのライフスタイルの変化とともに、価値を見出すことができなくなった里地・里山では、農家の足音が聞こえなくなり、自然の循環が途絶えました。</p> <p>丹沢ドン会では、毎年参加者を募集している「丹沢自然塾」の開催により、農家に代わって丹沢の麓と都市を結び、人海戦術で棚田の復元活動に取り組んでいます。自然に癒され、仲間づくりをする参加者は、丹沢ドン会のフィールドである秦野市名古屋の棚田や羽根の里山で、それぞれの居場所を見出し、安全・安心な食べものづくりを通して生きる源である「食」を考え、小さな地域経済を起こし、人間の都合を少し控えた活動を継続しながら、生物の多様性の実現を図っています。そして、生物の多様性を支えるのは、地域と都市をむすび、さまざまな担い手である人間の多様性であることを肝に実感しています。身近な自然である里地・里山を復元・保全して伝統的な農村風景を再生し、次の世代へ伝えたいと思います。</p> <p>丹沢ドン会は、創立25周年を記念して、保全生態学の泰斗・東京大学名誉教授・中央大学教授の鷺谷いづみさん、名古屋の水生生物の調査を10数年にわたり継続している東海大学自然環境課程教授の北野忠さんを迎えて、生物多様性緑陰フォーラム in 名古屋「さとやまと生物多様性のいま」を2016年10月に名古屋の復元棚田で開催しました。その成果を踏まえ、2017年4月から、丹沢ドン会と東海大学自然環境課程・慶應大学一ノ瀬研究室との協働による「名古屋の自然総合調査」をスタートさせました。水生生物・水・土壌・植物・哺乳類・昆虫・鳥などについて3か年にわたって継続調査します。その成果を、里地・里山の生物多様性の保全・再生に生かし、里地・里山の管理手法や生物多様性の現状を明らかにしたいと思います。</p> <p>2017年度の「丹沢自然塾」は、4月の開講オリエンテーション・棚田の種まき教室に始まり、田植え・稲刈りなどの米づくり、そばの種まきから始める新そば手打ち体験教室などの安全・安心な食べものづくりを軸として展開しました。その他にも田んぼの生き物観察、里山ウォーキング、里山管理教室など合計10のカリキュラムで、都市の市民と丹沢山ろくを結ぶ活動を展開しました。前年のイノシシなど野生動物による被害を受け、地域のみなさんと話し合いを進め、電気柵の設置についての理解を得ることができました。その結果、電気柵を設置し、例年以上の収穫を得ることができました。今後は、イノシシなどの学習能力がどのようになるかを注意深く観察したいと思います。</p>

また、2017年度は、次世代への伝統的な農村風景を伝えるために人材育成の一環として「丹沢こども自然塾」を開催しました。自然のふしぎクイズ・生き物観察・竹細工体験・ロープ遊びなどに90名の親子連れが名古屋の復元棚田の周辺で自然体験をしました。事前・事後のアンケートにより、子どもたちの変化を確認。今後の「こども自然塾の」メニューに生かすデータを得ることができました。



こども自然塾「自然のふしぎクイズ」(秦野市名古屋 2017年7月30日)

連絡先

【担当者】片桐 務

【住 所】秦野市東田原 200-49

【電 話】

【F A X】0463-83-7355

【メール】yumekoubou-t@nifty.com

団体名称	丹沢けものみちネットワーク
設立目的	ニホンジカを始めとする丹沢の生き物の視点から丹沢の自然環境保全、再生に資するための調査、実践、普及啓発を行う。 【設立年月日】平成8年7月
会員構成等	【代表者】－ 【会員数】約10名 【ホームページ】－
活動内容	<p>【ニホンジカの生息密度調査】（継続調査）</p> <p>丹沢山地東部に位置する札掛において、1998年以降、毎年2回札掛地区において区画法によりシカの生息密度調査を継続的に行っており、2017年度は、4月2日、12月3日に調査を実施した。</p> <p>【生息動向調査】</p> <p>1998年以降シカの生息密度調査を継続的に行っているが、2007年度以降、札掛地区においても、県によるシカの管理捕獲が実施されており、部分的に林床植物の成長が見られている。</p> <p>しかしながら、当該地域のシカの生息状況の季節変動についての把握は不十分な状況であることから、自動撮影カメラを設置し、シカの撮影頻度から、生息状況の季節変動に関する情報を把握した。</p> <p>（活動状況写真：自動撮影カメラで撮影した写真）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
連絡先	<p>【担当者】岩岡 理樹</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】 tad-iwaoka@qq7.so-net.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 丹沢自然保護協会
設立目的	「空に鳥 森に獣 川には魚」のいる豊かな丹沢の自然環境を子供たちに残すために「今、私たちに出来ること」をテーマに保護、保全活動を行う 【設立年月日】1960年設立、2004年NPO法人に改組
団体情報	【代表者】中村 道也 【会員数】500名 【ホームページ】丹沢自然保護協会で検索してください
活動内容	専門的な調査・研究から街中の自然観察まで幅広く行い、自然保護思想の普及・啓発を行う。 【平成29年度の活動結果】 1、緑の再生活動 荒廃地や人為的影響により生じた裸地に広葉樹等の植栽を行い動物たちの生息地が孤立しないよう、緑地帯で生息域を繋ぐ緑のコリドー作りを行う。 29年度は丹沢・大山イタツミ尾根の水源環境整備地に植樹した。 ① 春の植樹：実施日 4月22日（土）参加者：98名 ② 秋の植樹：実施日10月28日（土）参加者：約67名 2、丹沢フォーラム 丹沢の抱える問題や、行政事業として実施されている丹沢再生事業地を訪ね 担当職員あるいは専門講師を招へいする。 ① 春の丹沢フォーラム：実施日4月22日（土） ② 秋の丹沢フォーラム：実施日11月19日（日） ウラジロモミ防護ネット巻き補修事業と共催 3、森の学校 子供たちに合宿による自然観察や実地体験を通して、楽しみながら自然環境を学んでもらう。 ① 夏の学校：実施日 8月14日～16日参加者：43名 ② 冬の学校：実施日12月27日～29日参加者：38名 ③ 春の学校：実施日 3月26日～28日 4、丹沢を歩く 初心者を対象に鳥・植物・動物の痕跡などの観察をしながら、低山を歩き、自然保護の啓発活動を行う。 ① 弁天杉に会いに行こう：4月18日（火）雨天中止 ② ユーシン溪谷を歩く： 5月10日（水）雨天中止

	<p>5、森林整備体験活動 枝打ち、間伐作業補助及び炭焼き等の体験を通して、森林のあり方・手入れの大切さ・環境保全について学ぶ。 実施日：12月26日（月）</p> <p>7、関係団体との協働</p> <p>① ボラネットの水質調査に参加 ② クリーンピア21の清掃活動に参加 ③ ワールドフェスタのイベントにて丹沢再生への取り組みの紹介展示を 実施。</p>
連絡先	<p>【担当者】 酒井明子</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】 the_sakais@ybb.ne.jp</p>

団体名称	丹沢ブナ党
設立目的	<p>ブナを象徴とする丹沢の自然を守るための実践的な活動に取り組むことを目的とする。</p> <p>【設立年月日】1990年11月3日</p>
団体情報	<p>【代表者】梶谷 敏夫</p> <p>【会員数】90名</p> <p>【ホームページ】http://tanzawabunato.web.fc2.com/ 【代表者】</p>
活動内容	<p>1. ブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査の実施 前年からの引き続きのブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査に取り組みました。実生は少量。ハバチの被害は少なかったです。</p> <p>2. 秦野市峠地区大規模霊園開設計画問題への積極的な対応 オオムラサキの越冬幼虫の数は多かったです、霊園側の榎では激減しました。</p> <p>3. シカ対策をテーマにシンポジウムを開催 丹沢におけるキー・アニマルであるニホンジカをどうするかをテーマに、シンポジウムを開催し、高槻成紀先生を始め、山根正伸さん、濱崎伸一郎さん、川島範子さんを迎えて、活発な議論を展開しました。</p> <p>4. ツキノワグマの痕跡調査、餌植物調査の実施 昨年は、ブナやクヌギ、コナラ類の結実は良くありませんで、大山北尾根、ネクタイ尾根等では、痕跡が確認できませんでした。</p> <p>5. 他団体との交流 富士ゼロックス端数倶楽部、小田原山盛りの会との交流を行いました。</p>
連絡先	<p>【担当者】梶谷 敏夫</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	西丹沢の自然にふれあう会
設立目的	西丹沢・北丹沢計6箇所避難小屋およびその往復登山道の清掃活動をするため 【設立年月日】2000年6月25日
団体情報	【代表者】多田慎一 【会員数】33名 【ホームページ】-
活動内容	<p>平成29年の活動概略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月一回の例会を計9回実施。内容は2箇所の避難小屋や西丹沢を主とした登山道の清掃活動など（写真は8月例会、菰釣山で） 参加者延べ102人、回収ゴミ43kg。 ・他にも会員有志による清掃登山が数回 ・西丹沢山開きに登山者代表として参加 ・ボラネット関連では水質検査採水の分担実施など 
連絡先	【担当者】沼野正睦
	【住所】
	【電話】
	【FAX】
	【メール】mnumano@jcom.home.ne.jp

団体名称	蛭ヶ岳山荘委員会
設立目的	<p>神奈川県より譲渡された、民間経営の山小屋としてお客様が快適に過ごせる山小屋を目指して営業努力している。山岳愛好者を中心とする一般登山者に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1998年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】 杉本 憲昭</p> <p>【会員数】 蛭ヶ岳山荘友の会 100名</p> <p>【ホームページ】 http://kitatan.com/hirutop</p>
活動内容	<p>4月 14日 春・夏用の物資荷上げ 北丹沢山開きに合わせ山頂での清掃活動（登山者への呼びかけ）</p> <p>5月 登山道利用実態調査協力、丹沢大山流域の水質調査に協力 9月 蛭ヶ岳山頂の土砂流失による埋立ゴミ（缶・ビン等）清掃 10月10日 秋・冬用の物資荷上げ 11月23日 神ノ川ヒュッテ周辺の清掃活動</p> <p>活動場所 北丹沢山城（特に蛭ヶ岳、神の川乗越、姫次を中心とした地域）</p> <p>蛭ヶ岳山荘友の会会長 太田 顕成</p>
連絡先	<p>【担当者】 杉本 憲昭</p> <p>【住所】 相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】 042-687-4011</p> <p>【FAX】 042-687-3980</p> <p>【メール】 kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 みろく山の会
設立目的	<p>健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する目的で設立されました。</p> <p>【設立年月日】1983年4月設立。2000年3月山岳会として全国で初めてNPO法人として認証を受けました。</p>
団体情報	<p>【代表者】十倉 昭雄</p> <p>【会員数】780名（平成29年12月末）</p> <p>【ホームページ】http://www.mirokuyamanokai.org/</p>
活動内容	<p>会山行は月50回以上で年間700回以上を、150名のリーダーで初心者から経験者までが参加できる山行を計画しています。近郊の公園歩きからアルプスなどの山行から沢登りやクライミング、スキー及び海外登山まで多様な山行を実施しています。</p> <p>会の三大大行事として年一回の総会・みろく祭り・清掃登山活動があり、そのなかで清掃登山は創立以来継続しており第35回として平成29年3月4日に大倉周辺の10コースに会員213名が参加し、ゴミ430kgを収集しました。</p> <p>丹沢大山再生計画の第一期から行っている大倉尾根の県民協働型登山道補修は毎月一回10名程度が参加し、登山者調査と登山道の老朽化した階段や水切りの補修を行っています。</p> <p>県下の高校生が参加して『高校生が取り組む「丹沢やまみち再生体験」』を大倉尾根で過去8回実施しましたが、H30年度は準備不足で中止となりました。</p> <p>大倉尾根の裸地対策としてNEXCO中日本との協働により大倉尾根で採取した種から苗を育成し、9月に登山道脇に植栽する作業をおこないました。</p> <p>森づくりは2haのヤドリキ水源林で年数回の草刈りと毎年100本以上の広葉樹5種類以上の植樹をしてきました。12月に68本の最終の植樹をおこない、今後は育成活動を主におこないます。</p>
連絡先	<p>【担当者】鈴木 茂</p> <p>【住所】横浜市西区平沼1-1-11-202</p> <p>【電話】045-317-2369（平日12:00-17:00）</p> <p>【FAX】045-317-2365</p> <p>【メール】sizenhogo-bu@mirokuyamanokai.org</p>



H29年3月 清掃登山活動集合写真



清掃登山 水沢林道ゴミ収集



H29年6月 ヤドリキ整備



H29年9月 NEXCO 植生回復作業



H29年7月 大倉尾根補修

団体名称	NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)
設立目的	<p>野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする</p> <p>【設立年月日】平成 15 年 7 月 5 日</p>
団体情報	<p>【代表者】皆川康雄</p> <p>【会員数】約 20 名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約 80 名</p> <p>【ホームページ】http://www.wrv-kanagawa.net/</p> <p>【Facebook ページ】https://www.facebook.com/wrv.kanagawa</p>
活動内容	<p>丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にはないが、県内の野生動物救護施設を中心に県内全域で以下の活動をしました。</p> <p>①傷病野生動物の救護と野生復帰</p> <p>②傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定</p> <p>認定された野生動物リハビリテーターは、県自然環境保全センター、横浜市立動物園（野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア）及び川崎市立夢見ヶ崎動物公園にて活動</p> <p>③大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育</p> <p>④次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育</p> <p>⑤県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発</p> <p>⑥救護原因の究明や予防対策のための調査研究</p> <p>平成29年度 特命子ども地域アクター</p> <div style="text-align: center;">  <p>たぬきプロジェクト</p> <p>タヌキを交通事故から守ろう！</p> <p>一人もタヌキも安心して暮らせるまちづくり</p>  </div> <p><きみたちへの特命></p> <p>神奈川県内のまちなかは、ケガをしてしまう野生動物が多いって知っているかい？</p> <p>交通事故にあったり、窓ガラスにぶつかったり、釣り糸にからまったり…。私たちの身近に住んでいる野生動物から「神奈川県は暮らしにくいまちだ」といったなげきが聞こえてきそうだ。</p> <p>そこで、きみたちに特命だ。</p> <p>タヌキの交通事故にスポットをあて、なぜ事故が起きてしまうのか、事故を防ぐためにはどのようなすれば良いのかを考えてほしい。</p> <p>そして、タヌキを交通事故から守るために、また車を運転する人も危ない思いをしなくてすむように、タヌキに代わってきみたちが大人たちに事故防止を呼びかけてほしい。</p> <p>それでは、交通事故にあったタヌキの代弁者になってくれる小中高生が集まってくれることを期待しているぞ。</p>

<実際の活動内容>

- ・タヌキの交通事故の実態について、事故現場や原因(背景)について専門家から話を聞く。
- ・事故にあったタヌキが保護されている救護施設を見学する。併せて施設での取り組みを学ぶ。
- ・タヌキを交通事故から守るための事故防止呼びかけチラシ等を作成する。



<受け入れ団体>

NPO法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部(WRV神奈川支部)

人間活動によって傷ついた野生動物を獣医療をもって野生復帰させるとともに、物言わぬ野生動物の代弁者になって人と野生動物との共生を図ることを目的に活動しています。
当団体が認定した野生動物リハビリーター(ボランティア)が、みなさんといっしょに活動します。



子どもたちが考案した「たぬきパズル」。タヌキの体の特徴に合わせて作らないとアライグマが完成してしまう。

連絡先

【担当者】 皆川康雄

【住 所】 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 5-17-5 皆川ハイツ 102

【電 話】 045-548-4744

【F A X】 045-548-4745

【メール】 kanagawa@wrvj.org

団体名称	かながわ野生動物サポートネットワーク
設立目的	<p>人と野生動物の間には多くの問題がありますが、その解決には人間側の都合だけでなくその生息環境を含めて野生動物のことをよく知ることが求められます。</p> <p>（生態、行動、地域の特性などをよく知ることが野生動物側の「立たされている状況」を客観的に掴むことにつながる。そのような視点から野生動物をサポートしたいと考え会を設立しました。傷病、他、さまざまな理由で人間の手の中に入ってくる野生動物から背後にある「問題」を読み取り、折り合いをつける方法を探りながら生物多様性保全を目指した様々な活動を行います。神奈川野生動物救護連絡会（救護連）に参加、WRV 神奈川支部、神奈川県野生動物リハビリテーター、その他有志の方々と連携。多くの団体、個人とのネットワークを活かし、解決に向けた取り組みと啓発普及活動をしています。</p> <p>【設立年月日】平成10年4月1日</p>
団体情報	<p>【代表者】葉山 久世</p> <p>【会員数】現在会員募集なし。プロジェクトごとに有志で運営するスタイル</p> <p>【ホームページ】http://umigome.ezpress.jp/ （救護連の活動を掲載、サポートのHPは持っていません）</p>
活動内容	<p>かながわ野生動物サポートネットワークとして</p> <p>野生動物の調査や救護に関する相談、アドバイス、対策提案など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●野生動物対策の委員会委員（カワウ、外来生物） ●サギの糞・鳴き声被害対応（南足柄市） ●日本獣医師会 野生動物救護対策の在り方検討小委員会 専任委員 委員会の報告書「保全医学の観点で踏まえた野生動物対策の在り方」編集 カナダガン調査グループのメンバーとして ●富士山周辺の野生化カナダガン（モニタリング調査・普及啓発） <p>展示：さがみ自然フォーラム 野毛山動物園にて動物たちのSOS展、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本自然保護協会 平成28年度日本自然保護大賞 保護実践部門受賞 神奈川野生動物救護連絡会のメンバーとして ●野鳥への釣り針・釣り糸被害の防止のための活動（調査：横浜市金沢区福浦岸壁の釣り針・釣り糸調査、普及啓発：ジャパンフィッシングショー、展示：さがみ自然フォーラム） ●海ゴミによる野生動物への被害（展示・ワークショップ：ズーラシアにて海の動物 SOS!展） ●トビ被害の防止（予防のための普及啓発：金沢いきいきまつり、藤沢市環境フェア、長浜公園感謝DAY、さがみ自然フォーラム）
連絡先	<p>【担当者】葉山久世</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】0463-93-6589</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】pcv@nifty.com</p>

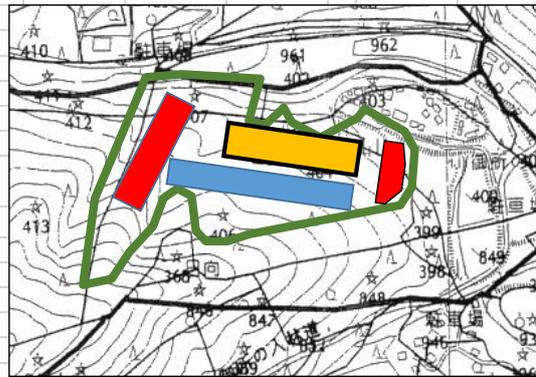
団体名称	町田グラウス山の会 （ 日本勤労者山岳連盟所属 ）
設立目的	ハイキング、山岳スキー、自然保護活動などを行う地域山岳会。 【設立年月日】 1984年1月
団体情報	【代表者】 千葉 静子 【会員数】 178 名 【ホームページ】 http://machida-grouse.com/
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹沢だけではなく、国内外の山岳での登山活動。 ・ 4月16日（日）、丹沢山開き式への参加と、三ノ塔尾根での植物観察会を実施。スマレの仲間だけでも10種類を確認。 ・ 5月28日（日）に障害者との交流ハイキングを松田山で実施した。会員80名、17名の障害者うち4名は車椅子利用、介助者と一般参加者12名の109名が参加。松田山ハーブガーデンではスイカ割り、合唱、民謡踊りで交流を深めた。 ・ 11月19日（日）、早戸川上流の魚止めの森の植樹地の手入れ作業に19名が参加。数年前に植樹されたヤマボウシやイロハモミジなどは根付いてはいるが、土壌条件やシカによると思われる採食により生育は思わしくない。新たな場所では穴を掘り、客土をしてから苗を植樹する予定。 ・ 10月に実施予定のクリーンハイク（清掃登山）が天候不良で実施できなかった。そのため12月22日（金）に有志14名で実施。蓑毛からヤビツ峠への柏木林道と峠周辺で行った。登山道のごみは少ないが、林道下への投棄は、相変わらず目立つ。総計30kgのごみを回収。
連絡先	【担当者】 安田 優 【住 所】 【電 話】 【FAX】 【メール】 m_and_e_yasuda@yahoo.co.jp

団体名称	N P O 法人伊勢原森林里山研究会
設立目的	伊勢原市内の森林及び里地の自然環境保全と農林産物の有効活用促進に関する事業を行い、環境の保全を図る 【設立年月日】 平成 17 年 4 月 6 日（登録年月日）
団体情報	【代表者】 山口 寿則 【会員数】 22 人 【ホームページ】 http://www.iif-isehara.com
活動内容	地球温暖化防止に関わる森林の機能は特に温室効果ガスの吸収源として我が国における京都議定書の第 2 約束期間で約 7 割を担っています。森林保全再生活動はこの点からも非常に重要な役割を担っています。 森林保全再生事業 石雲寺の森混交林化に向けたパッチ状皆伐・植樹→稚樹保護・軽量堅牢獣害柵敷設による林床植生保護→3 年後の柵開閉によるニホンジカ生息環境づくりを整備し野生動物との共生を探る。 里地の遊休水田・畑地の保全再生 竹堆肥による稲作、雑穀、野菜の固有種育成による地域農業の再生 調査研究事業 植生保護柵開閉によるニホンジカ進入行動調査 下層植生の牧養力調査 農林産物の有効活用と地域再生 石雲寺の森間伐材の搬出とログデッキ制作による二酸化炭素固定促進 広葉樹伐採と有効活用による原木キノコ栽培の試作と普及 その他の事業 都市と中山間地の交流事業（子育て支援の後方支援 植樹祭 彼岸花まつりへの参加 民俗行事「虫おくり」の復活を通じた協議会設立支援）
連絡先	【担当者】 山口 寿則 【住 所】 伊勢原市伊勢原 1-16-4 【電 話】 【F A X】 【メール】 info@iif-isehara.com

石雲寺の森混交林化に向けたパッチ状皆伐・植樹→稚樹保護・獣害柵敷設→下層植生保護→ニホンジカ生息環境保護→獣外柵の定期的開閉による野生動物との共生の森をめざします



入会2年半の広報担当Yです。28年度の活動を報告します



石雲寺の森2.31ha 年度別活動対
 ■ 26年度 ■ 27年度 ■ 28年度



28年3月 植樹風景



プロに学ぶ架線敷設



ツリーシェルターで稚樹保護→獣害ネット張り

200mワイヤー・滑車を使ったジグザグ架線集材



返し付滑車

滑車取り付け位置の保護



ワイヤーグリップ

返しなし滑車

林内の土場まで単線集材

いざ本番!

集積場に集材

里地の農地の保全再生

荒廃竹林の伐採・チップ化・竹堆肥



ドロと遊ぶ「泥リンピック」

絶えていた虫送りを復活、田の神に祈る

M家の竹移送

踏込が決め手

竹灯笼づくり

馬力と切れ味の竹粉砕機

鶏糞添加

発酵1年で完熟堆肥

木材の搬出と有効活用で二酸化炭素の固定



搬出木材の移送

ログソールの製材技術を学ぶ

テーブルベンチに技術を生かす

日向マルシェの販売台

獣害に営農意欲低下が輪をかけた耕作放棄地の拡大に地域特産品の光を・・・



獣被害地域の必需機具

獣外柵の内側で地域特産品開発の実験農場

固定種のタネ取りを目指した農業1年目

彼岸花まつりに出品 地域の方も協力

団体名称	NPO 法人神奈川ウォーター・ネットワーク
設立目的	水生生物の調査研究や保全活動および啓蒙・教育活動を行う 【設立年月日】 2006年10月18日
団体情報	【代表者】山崎 泰 【会員数】12名 【ホームページ】ありません
活動内容	<p>2017年度活動</p> <p>「川の生きものしらべ教室」8月16日および8月23日 神奈川工科大学・神奈川県環境学習リーダー会との共催で実施しました。 16日は増水のため室内で講義と観察、23日は川に入って採集と観察を行いました。各会とも約30組の親子が参加され、生き物の魅力を感じてもらえました。</p> <p>「ヤマメの産卵床造成活動」10月8日 酒匂川水系の小さな沢で、10年以上続けている活動です。ヤマメの産卵に適した河床構造を人工的に作り、個体数の少ないヤマメの増殖を図ることが目的です。他県の河川でも、種苗生産されたヤマメを放流するのではなく、産卵床の造成によって、その河川の遺伝的多様性を守ろうとする増殖方法が行われるようになってきました。</p> <p>「神奈川県自然環境保全センター池のカイボリ」3月18日 在来生物に影響を与えるアメリカザリガニやコイなどの捕獲を目的に行います。1回目からすると移入種の数減り、在来生物の数と種が増え、多様性が回復していることが分かります。</p>
	 
連絡先	<p>【担当者】金子裕明</p> <p>【住所】厚木市旭町 2-12-3</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】neptis1017@gmail.com</p>

団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	<p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>
団体情報	<p>【代表者】 理事長 五十嵐聡</p> <p>【会員数】 21名</p> <p>【ホームページ】 http://www.tes21.org</p>
活動内容	<p>私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。</p> <p>29年度は、13回のエコツアーを実施（今後に予定しているものを含みます）。例えば、こんなツアーをやっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身に水を浴びて西丹沢の源流の沢をさかのぼる「シャワークライミング」。滝を登って淵にドボン！ 夏休みの土日限定で実施している、丹沢自然学校で最も人気のあるプログラムです。 ・「丹沢の自然再生調査」 8年間継続している檜洞丸の定点撮影を、参加者と一緒に行い、8年間の林床植生の変化や立ち枯れを実感していただきました。今年度からは、丹沢山での定点撮影調査も開始しました。なお、この取り組みは、丹沢の緑を育むつどい・ボラネット助成金をいただいて実施しています。 ・「ヒミツの丹沢探検部」 丹沢自然学校スタッフのとおきのおすすめコースを歩くイベント。「参加者全員がガイド」を合言葉に、誰かが引率するガイドツアーではなく交流登山として実施しています。三国峠～不老山、丹沢堂平など、マイナーで歩く機会の少ないコースをあえて選んでいます。 ・「丹沢山麓で砂金探し」 丁寧に泥を流していくと、きらりと光る一粒を発見！一獲千金！…は無理ですが、なぜここに金が出るのか、丹沢の成り立ちからさぐる学びも交えたエコツアーです。（残念ながら29年度は雨天中止でした。） ・「里山時間」 上秦野の自然や伝統文化を体験するプログラム。春は自然散策、冬には道祖神巡りとだんご焼き体験で、丹沢さん足の自然に根差した暮らしを実感していただきました。 <p>ボランティア活動としては、上記「丹沢の自然再生調査」のように、西丹沢の植生の状況を追跡調査する定点撮影調査を行っています（28年度からは一般参加者も募って実施）。丹沢の林床植生の衰退や立ち枯れをビジュアルに示すことができ、スタッフも参加者もあらためて丹沢の自然再生を考える機会になっています。</p> <p>地域への貢献としては、秦野丹沢まつりの山開きイベントにガイドとして協力しました。また秦野市郊外の小学校で、野生動物調査の出張授業（総合学習の事業）を2回実施しました（丹沢の緑を育むつどい・ボラネット助成金により実施）。</p> <p>これらの活動を通じ、多くの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願っています。</p>



シャワークライミング（西沢）



里山散策のエコツアー（上秦野）



林床植生の定点撮影（檜洞丸）



左：2010年10月、右：2017年11月



野生動物調査隊（秦野市立上小学校での特別授業として実施）



連絡先

【担当者】

【住 所】 秦野市八沢 76-5

【電 話】 080-5528-1491

【F A X】 0463-57-2967

【メール】

団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会
設立目的	野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。 モットーは「一頭一羽でも多くの野生復帰を目指して！」 【設立年月日】平成18年10月2日
団体情報	【代表者】渡辺 優子 【会員数】約130名 小学生から年配者まで幅広い会員 【ホームページ】 http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp
活動内容	基本は神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月20日「野生動物救護の会設立10周年記念特別講演会」開催 ・5月27日「誤認保護防止キャンペーン」開催 ・「平成29年度野生動物救護ボランティア講習会」開催 ・7月30日第7回夏休み子ども体験教室「野生を学ぶ」開催 ・9月17日羽根標本展示会開催 ・9月25日「平成29年度野生動物救護ボランティア修了式」開催 ・9月12日d物痕跡調査講習会開催 ・11月3日はだの市民祭りパネル展示参加 ・11月5日動物フェスティバル神奈川2017inさがみはらパネル展示参加 ・12月9日傷病舎大掃除&豚汁大会開催 ・1月31日秦野市立上小学校環境教育活動 ・2月8～12日さがみ自然フォーラムパネル展示参加 ・3月3日厚木ミニ環境フェアパネル展示参加予定 ・3月18日丹沢ボラネット交流会参加予定 ・3月24日春休み子ども体験教室開催予定 通年調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「足環プロジェクト」 ・「秦野市立図書館衝突調査」 ・フクロウなどの巣箱調査 ・神奈川県自然環境保全センター野外施設及び傷病鳥獣舎周辺での「野生動物痕跡調査」 そのほか羽根標本作成や探鳥会などを行っている また、会報誌RUNNER発行やブログ更新（随時）も行っている
連絡先	【担当者】渡辺 優子 【住所】神奈川県秦野市戸川 1086-4 【電話】0463-75-1830 【FAX】 【メール】wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp



夏休み子供体験教室



探鳥会～12月



動物フェスティバル 2017



はだの市民祭り

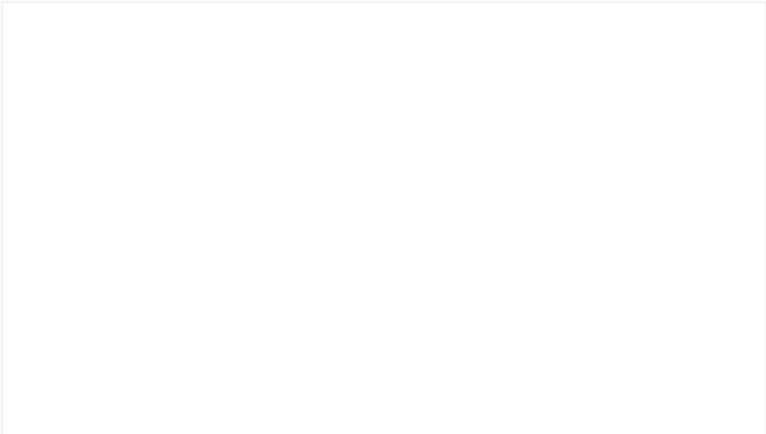
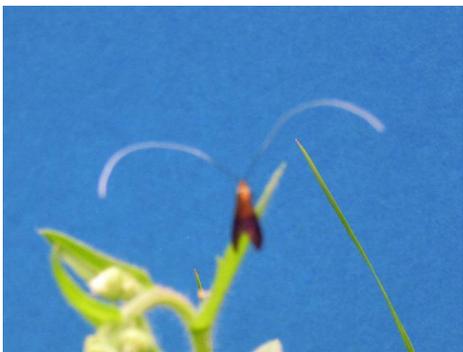


羽根標本展示会



上小学校での環境教育

団体名称	特定非営利活動法人 足柄丹沢の郷ネットワーク
設立目的	この法人は、広く一般の市民に対して、神奈川県足柄上地域・西丹沢の地域間連携による共生型の市民ネットワーク社会の構築と地域にある豊富な資源を活用した都市と農山村間の交流や学び、体験などの多様なカリキュラムやプログラムを通じて、人と地域が共に学び、共に生き、共に発展（繁栄）していくための持続可能な仕組みづくりを目指し、地域や山里の歴史や自然、暮らしや文化などの叡智に対する認識と継承を行い、環境、教育、社会福祉、青少年の健全育成などの分野の向上に寄与することを目的とする。 【設立年月日】平成23年6月7日
団体情報	【代表者】福島 実 【会員数】12名 【ホームページ】 http://ashitan.jimdo.com
活動内容	(1) 足柄キンタロウ学校事業活動 ・グリーンウッドワークのものづくり体験（木工・木育）活動 （平成25年度、26年度、27年度、28年度、29年度子どもゆめ基金採択事業） ・自然体験・野外体験活動 （平成29年度子どもゆめ基金採択事業） (2) 森林ボランティア活動 活動地：山北町玄倉、箒沢地区の民有林の森 (3) その他
連絡先	【担当者】福島 実 【住所】 【電話】080-6106-0974 【FAX】 【メール】 m.fukushima@sea.plala.or.jp

団体 名称	湘南自然観察クラブ
設立 目的	自然観察を通して環境保全をめざしたい 【設立年月日】平成22年12月
団体 情報	【代表者】田中 幸雄 【会員数】 8名 【ホームページ】—
活動 内容	<p>月1回 県央・湘南・西湘・横浜地区をベースにいろいろな方との交流を兼ねて動植物の観察会を行っています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>自然保全センターにおいてミニ観察会の実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
連絡 先	<p>【担当者】石山 浩恵</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】045-301-9617</p> <p>【FAX】同 上</p> <p>【メール】stone-mountain@jcom.home.ne.jp</p>

団体名称	伊勢原の自然と環境を守る会
設立目的	伊勢原の自然と環境を破壊から守り、自然と共生する生活を模索することで、大量生産・大量消費社会を超えた、新たな持続可能な循環型社会を実現する。 【設立年月日】 1993年7月1日
団体情報	【代表者】北山 宏之 【会員数】70名 【ホームページ】 http://www.geocities.jp/iseharakankyou/
活動内容	<p>活動の柱（地域の環境保全活動全般）</p> <p>1）オオタカの調査、保護 2）大気汚染調査 3）環境保全型農法の研究 4）第2東名、246バイパスへの対応、5）農作物などに含まれる放射線量の測定</p> <p>活動詳細</p> <p>1 日向の畑関連 田植え 5月 田の草取り 7月 そばの種まき 8月 稲刈り 9月 そば刈り ・脱穀摺り10月 鴨そばP 11月</p> <p>2 先進事例等の視察研修会の企画（伊勢原環境ネットワークに協力） 再生可能エネルギーの取り組みについての小田原視察の提案</p> <p>日時：2018年3月26日（月）～3月29日（木）の4日間のうちのいずれか1日で調整します。</p> <p>視察内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原市の取り組み（担当 小田原市エネルギー政策推進課） 添付資料 「再生可能エネルギーの利用等の促進に関する条例」参照のこと。 ・企業・市民団体の取り組み（担当 合同会社小田原かなごてファーム 小山田 大和 氏 https://ameblo.jp/enejim/ 参照のこと。） ソーラーシェアリングによる耕作放棄地の解消・営農型太陽光発電、メガソーラー市民発電所、鈴廣（株）の再生可能エネルギーの取り組みなど
連絡先	<p>【担当者】北山 宏之</p> <p>【住所】伊勢原市三ノ宮1777-7</p> <p>【電話】0463-91-2334</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】kitayama-hiro@kfx.biglobe.ne.jp</p>

Ⅲ 世話人会の活動報告

平成 29 年度世話人会の活動報告

1 世話人会の開催

(1) 第 1 回

実施日 平成 29 年 6 月 7 日 (水)

場 所 あつぎ市民交流プラザ

出席者 5 名

内 容 ①講演会 ②夏休み親子自然探検隊 ③瓦版の発行

(2) 第 2 回

実施日 平成 29 年 9 月 6 日 (水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 6 名

内 容 ①講演会 ②丹沢大山自然再生シンポジウム

(3) 第 3 回

実施日 平成 29 年 12 月 6 日 (水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 5 名

内 容 ①世話人の改選 ②外来種駆除 ③平成 30 年度事業計画

(4) 第 4 回

実施日 平成 30 年 3 月 7 日 (水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 4 名

内 容 ①世話人の改選 ②平成 29 年度総会の役割分担と事業計画 ③外来種駆除

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから、世話人代表が各委員会へ出席

(1) 緑を育む集い実行委員会

日時 平成 29 年 5 月 11 日 (木)

会場 自然環境保全センター

内容 ①平成 28 年度事業報告・決算報告について

②平成 27 年度事業計画・予算 (案) について

(2) 丹沢大山自然再生委員会

・第 24 回普及啓発検討部会

日時 平成 28 年 4 月 26 日 (火)

会場 万国橋会議センター

内容 ①平成 28 年度県民事業専門部会事業計画案・予算案について
②平成 28 年度県民事業専門部会の進め方について
③地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2016 について
④その他

・第 16 回丹沢大山自然再生委員会 (平成 28 年度総会)

日時 平成 28 年 6 月 24 日 (金)

会場 横浜市開港記念会館

内容 ①平成 27 年度事業実績・決算について
②平成 28 年度事業計画・予算 (案) について
③専門部会の報告・提案について
④次期丹沢大山自然再生計画について
⑤丹沢大山自然再生活動報告会について

・第 24 回幹事会 (平成 28 年度第 1 回丹沢大山自然再生活動報告会実行委員会)

日時 平成 28 年 7 月 22 日 (金)

会場 万国橋会議センター

内容 ①平成 28 年度丹沢大山自然再生活動報告会について
②次期丹沢大山自然再生計画に係る事業評価部会意見について
③その他

・第 25 回普及啓発検討部会

日時 平成 28 年 9 月 2 日 (金)

会場 かながわ県民活動サポートセンター

内容 ①地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2016 作業部会からの報告
②ワールドフェスタ・ヨコハマ 2016 について
③平成 28 年度丹沢大山自然再生活動報告会について
④その他

・第 17 回丹沢大山自然再生委員会

日時 平成 28 年 10 月 29 日 (土)

場所 厚木商工会議所

内容 ①今後の丹沢大山自然再生の取組について
②その他

・第 16 回県民事業専門部会

日時 平成 29 年 3 月 22 日 (水)

会場 万国橋会議センター

内容 ①普及啓発検討部会からの報告
②平成 28 年度事業実績見込・決算見込について
③平成 29 年度事業計画・収支予算案について
④その他

Ⅲ 世話人会の活動報告

平成 29 年度世話人会の活動報告

1 世話人会の開催

(1) 第1回

実施日 平成 29 年 6 月 7 日 (水)
場 所 あつぎ市民交流プラザ
出席者 5 名
内 容 ①講演会 ②夏休み親子自然探検隊 ③瓦版の発行

(2) 第2回

実施日 平成 29 年 9 月 6 日 (水)
場 所 自然環境保全センター
出席者 6 名
内 容 ①講演会 ②丹沢大山自然再生シンポジウム

(3) 第3回

実施日 平成 29 年 12 月 6 日 (水)
場 所 自然環境保全センター
出席者 5 名
内 容 ①世話人の改選 ②外来種駆除 ③平成 30 年度事業計画

(4) 第4回

実施日 平成 30 年 3 月 7 日 (水)
場 所 自然環境保全センター
出席者 4 名
内 容 ①世話人の改選 ②平成 29 年度総会の役割分担と事業計画 ③外来種駆除

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから、世話人代表が各委員会へ出席

(1) 緑を育む集い実行委員会

日時 平成 29 年 5 月 11 日 (木)
会場 自然環境保全センター
内容 ①平成 28 年度事業報告・決算報告について
②平成 27 年度事業計画・予算 (案) について

(2) 丹沢大山自然再生委員会

・第 27 回普及啓発検討部会

日時 平成 29 年 4 月 27 日 (木)

会場 万国橋会議センター

- 内容 ①平成 29 年度県民事業専門部会事業計画案・予算案について
②「地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2017」について
③「第 61 回秦野丹沢まつり」に関する結果について
④その他

・第 18 回丹沢大山自然再生委員会 (平成 29 年度総会)

日時 平成 29 年 6 月 30 日 (金)

会場 神奈川県庁

- 内容 ①平成 28 年度事業実績・決算について
②役員の変更について
③平成 29 年度事業計画・予算 (案) について
④専門部会の報告・提案について
⑤丹沢大山自然再生計画について
⑥丹沢大山自然再生活動報告会について
⑦委員会の保存文書の取扱いについて

・第 27 回幹事会 (平成 29 年度第 1 回丹沢大山自然再生活動報告会実行委員会)

日時 平成 29 年 7 月 21 日 (金)

会場 万国橋会議センター

- 内容 ①平成 29 年度丹沢大山自然再生活動報告会について
②平成 29 年度丹沢大山自然再生委員会事業計画・評価専門部会兼、調査専門部会の実施内容について
③その他

・第 28 回普及啓発検討部会

日時 平成 29 年 8 月 30 日 (水)

会場 万国橋会議センター

- 内容 ①地球環境イベントかながわエコ 10 フェスタ 2017 作業部会からの報告
②ワールドフェスタ・ヨコハマ 2017 について
③普及啓発補助金 (仮称) 制度について
④イベント等における水源環境保全・再生施策との連携について
⑤県民協働による登山道維持管理について

・第 29 回普及啓発検討部会

日時 平成 30 年 1 月 31 日 (水)

会場 万国橋会議センター

- 内容 ①平成 29 年度事業の実施結果と平成 30 年度事業計画について
②県民事業専門部会と普及啓発検討部会の統合について

- ③普及啓発活動推進費について
- ④第 62 回（平成 30 年度）秦野丹沢まつりへの新規出展について
- ⑤水源環境保全・再生施策（水源環境保全税）との連携による普及・啓発について
- ⑥その他

・第 17 回県民事業専門部会

日時 平成 30 年 3 月 12 日（月）

会場 波止場会館

- 内容
- ①平成 29 年度事業の実施結果と平成 30 年度事業計画について
 - ②県民事業専門部会と普及啓発検討部会の組織体制の再整理について
 - ③普及啓発活動推進費の創設について
 - ④第 62 回（平成 30 年度）秦野丹沢まつりへの新規出展について
 - ⑤水源環境保全・再生施策（水源環境保全税）との連携による普及・啓発について
 - ⑥その他

丹沢大山ボランティアネットワーク会則

(名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

(目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

(会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。
2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

(活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。
(1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
(2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
(3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

(世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。
2 世話人は総会によって選出し、5名程度とする。
3 世話人会に代表1名と、副代表1名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。
4 世話人会は代表が招集し、議長となる。
5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。
6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。
7 世話人会は、必要に応じ開催する。

(世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。
(1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
(2) 各種情報の収集、分析
(3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
(4) 総会に付議する議案に関すること。
(5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

(総会)

第7条 総会は、世話人会代表が召集する。
2 総会は、年1回以上開催する。

- 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。

- 2 会計担当者を2名以内置く。
- 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
- 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
 - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
 - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
 - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。

丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名
住 所 〒
代表者 氏名
〃 住所 〒
担当者 氏名
(連絡先) 住所 〒
〃 電話
〃 ファックス
〃 E-mail

団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	<input type="checkbox"/> あり (名称:) <input type="checkbox"/> なし
ホームページ	<input type="checkbox"/> あり (アドレス:) <input type="checkbox"/> なし
保全活動に関するキーワード	<input type="checkbox"/> 美化活動 <input type="checkbox"/> 植樹、森林の育成 <input type="checkbox"/> 調査 (内容:) <input type="checkbox"/> 普及啓発 (内容:) <input type="checkbox"/> その他 (内容:)
活動の概要	主な活動地域 ()
自由記載欄	
連絡方法	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> E-mail

- 注 1 該当する□にチェックをしてください。
2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団 体 名
住 所
代表者 氏名
〃 住所

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢 6 5 7

電話 046-248-0323